

経営比較分析表（令和3年度決算）

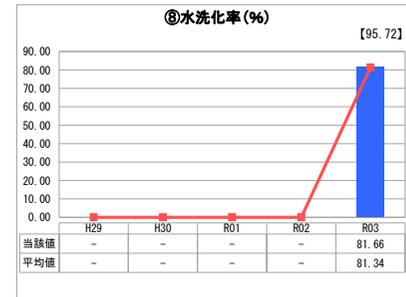
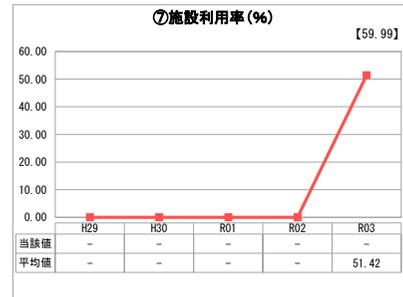
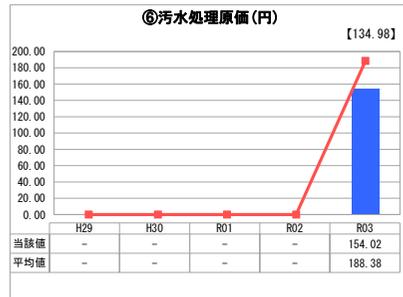
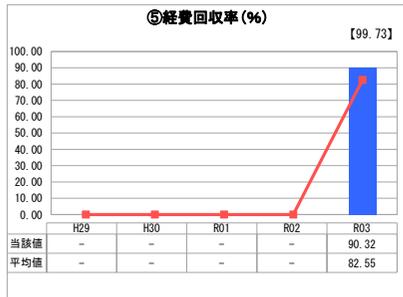
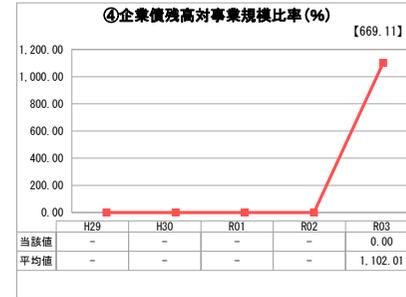
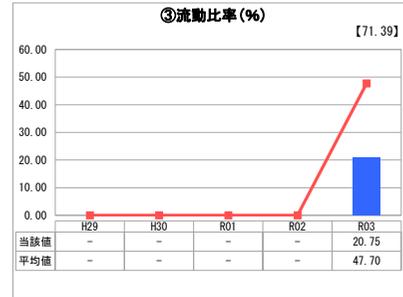
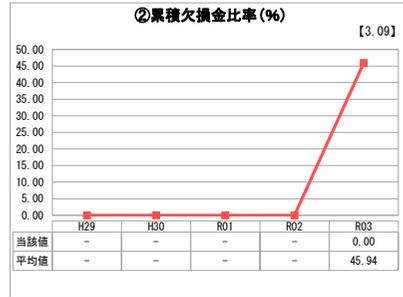
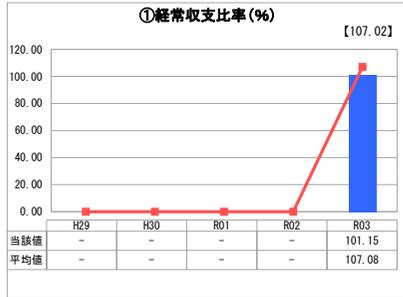
福岡県 鞍手町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.42	53.83	96.25	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,346	35.60	431.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,212	3.07	2,674.92

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度から公共下水道を含む下水道事業を経営状況が正確に把握できるよう法適化しました。そのため令和3年度からの当該値表示となっています。

①経常収支比率
昨年度は当該値が101.15%と黒字ではありましたが、実際には一般会計からの繰入金により収支を維持している状態です。今後は使用料増加等により、経営改善を図っていく必要があります。

③流動比率
当該値が20.75%と全国平均値に比べ低い主な要因は、起債償還等に係る費用を一般会計からの繰入金に頼っている点にあります。これに対して当事業内では、使用料増加や経費削減等により、随っていくことが求められています。

⑤経費回収率
当該値は90.32%と処理区域拡大により年々使用料は増加傾向となるため、徐々に改善していくと推察されます。

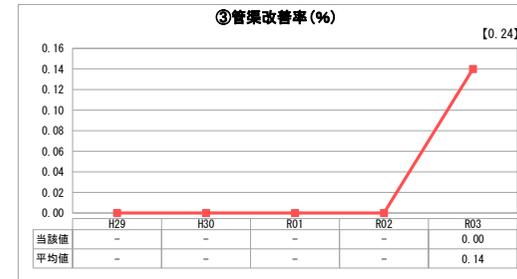
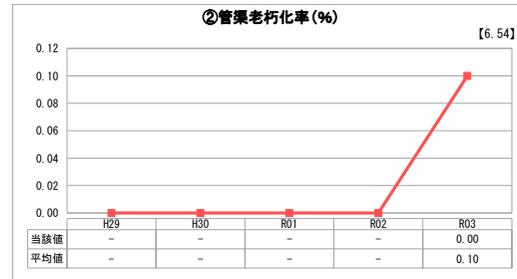
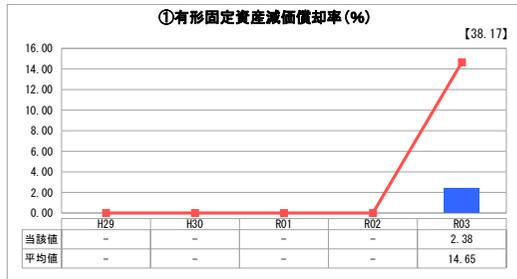
⑥汚水処理原価
汚水処理費の経費の減少や有収水量の増加により、汚水処理原価は改善傾向となる見込みです。

⑧水洗化率
当該値は全国平均値を若干上回っているものの、今後も啓発活動等により更なる向上が求められています。

2. 老朽化の状況について

更新時期を迎えた管渠はありませんが、将来的に発生する更新事業費の平準化・削減を図る必要があります。また、今後の社会情勢に見合った下水道事業の在り方について検討を行い、効率的な老朽化対策への準備を進めていくことも求められています。

2. 老朽化の状況



全体総括

昨年度より法適用事業に移行したことから、次年度は比較対象も僅かながら現れることにより、より数値の見える化が進むと推察されます。今後の事業計画については、事業の経営改善とともに、望まれる数値に達している項目についても継続・向上が求められます。そのため、社会情勢の変化に対応しつつ、経費削減や使用料の見直しを検討していく必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。